

研修通信

Volume 5

July 7th

TMDU × Waseda University Discussion Café 東京医科歯科大学×早稲田大学 ディスカッションカフェ



The 10th Discussion Café, an ongoing collaboration between TMDU and Waseda University, was held on July 7th at Intercultural Communication Center, Waseda University. About 40 students with diverse background from both universities joined a discussion under the theme “In Between Consumption and Disposal: What can we do about a world overflowing with things?”.

本学と早稲田大学との共同企画であるディスカッションカフェの第 10 回目が 7 月 7 日に早稲田大学の異文化交流センターで行われました。多様な背景を持つ両校の学生が「消費と消費と廃棄の狭間で ～モノで溢れる世界とどう向き合うか～」というトピックのもと、ディスカッションを行いました。



先週の土曜日、研修のクラスの学生はいっしょにわせた大学にディスカッションしに行きました。ディスカッションはごみをすてることについてでした。えい語で話しました。ゲームもしました。いろいろな国から来た留学生と日本人の学生が 30 人ぐらいいました。三つディスカッションのトピックが有りました。たとえば、今日日本でどんなごみを一ばんよく見るかについて話しました。そしてはっぴょうしました。ぜんぶのグループがいけんを言いました。ディスカッションの後で、すべて小さいことからはじまりますから、私たちはごみをすてることに気をつけようときめました。とてもおもしろかったです。

(エスラ/トルコ, スチ/インドネシア, アリ/パキスタン, ハク/中国, アーマド/クウェート)



このイベントには研修コース以外からも留学生が、また日本人学生も多数参加し、とても有意義なディスカッションが行われました。毎回、答えのない話題で、お互いが分かり合えるところに行き着くのは大変だなと思いついていますが、それでも諦めずに話し合いを続けていくことの重要性を教えてください。また、そのディスカッションが終わったあとで、おしゃべりを続けたり、LINE を交換したり、一緒にご飯を食べたりするなど、ディスカッションを共に経験した人だけが共有できるような時間を過ごしているのを見るのは嬉しいものです。次回のディスカッションカフェは 1 月に本学で開かれる予定です。(米本)